

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24466報)

2023年2月17日 14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [2月17日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 2月16日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 2月15日、16日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 2月14日、16日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 1月2日、2月16日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> <li>・2月17日の高濃度滞留水の移送実績は以下の通りです。 共用サプレッションプール水サージタンク(A)→集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋 移送開始: 11時26分 移送終了: 12時26分 移送量: 約44m<sup>3</sup></li> </ul> <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 ブランド関連パラメータ

2023年2月17日 11:00現在

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.6 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h	給水系: 1.6 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h	給水系: 1.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 2.0 m <sup>3</sup> /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 13.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 12.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 12.8 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 22.5 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 24.9 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 16.2 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H4): 15.3 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 12.9 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 12.8 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 23.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 23.0 °C	PCV温度 (TE-16-002): 14.3 °C 格納容器空冷機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 15.6 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.31 kPa.g	4.04 kPa.g	0.45 kPa.g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B): 15.65 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 15.55 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 6.65 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.59 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 8.50 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 7.89 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.1 m <sup>3</sup> /h	13.75 Nm <sup>3</sup> /h	22.76 Nm <sup>3</sup> /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol%	A系: 0.12 vol% B系: 0.12 vol%	
原子炉格納容器 成動能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.95E-04 検出限界値 4.69E-04 B系: 指示値 1.23E-03 検出限界値 3.66E-04	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	23.7 °C	22.5 °C	※5	※5
FPC 貯りヤツリ 水位	3.69 m	3.43 m	m	335 X100mm ※6

※1: 指示値がオプティミスの場合は0.00%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)

※2: 原子炉格納容器ガス管理システムAの水素濃度も記載する。

※3: 原子炉格納容器窒素封入流量は指示値NDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムAの水素濃度も記載する。

※4: 窒素封入率(%)・圧力で計測値を正しく記載し記載する。

※5: 窒素封入率(%)・圧力で計測値を正しく記載し記載する。

※6: 原子炉格納容器貯りヤツリ水位

【参照項目】

各計測器については、仕様やその他の再検査等の影響を受けて、通常の使用状態条件下で、異常な値を示す可能性がある。正しく測定されているかどうかの判断は、このほか計測器の精度や測定方法など、複数の要素を考慮して行う必要がある。このほか計測器の精度や測定方法など、複数の要素を考慮して行う必要がある。このほか計測器の精度や測定方法など、複数の要素を考慮して行う必要がある。

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/02/16 07:25	< 5.3E+00	< 5.0E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2023/02/16 07:32	< 3.6E+00	< 3.6E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋南東	2023/02/16 07:36	< 4.4E+00	< 5.5E+00	< 4.6E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/02/16 07:52	< 4.4E+00	< 5.0E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/02/16 07:44	< 5.6E+00	< 4.8E+00	3.6E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/02/16 07:48	< 4.3E+00	< 4.4E+00	< 3.7E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/02/16 07:40	< 4.1E+00	< 4.5E+00	< 4.2E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E+0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^{+1}$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^{+0}$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

3/11

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

### 構内排水路 分析結果 (全β・H-3・Y)

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/02/15 07:16	< 3.3E+00	< 7.2E+00	< 4.4E-01	2.0E+00
物揚場排水路	2023/02/15 07:21	< 3.0E+00	< 7.2E+00	< 4.5E-01	< 5.8E-01
K排水路	2023/02/15 06:00	8.1E+00	9.5E+01	< 6.4E-01	4.1E+00
BC排水路	2023/02/15 06:00	< 3.5E+00	< 7.3E+00	< 3.7E-01	< 4.8E-01
D排水路	2023/02/15 07:11	< 3.0E+00	< 7.2E+00	< 5.1E-01	< 5.8E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E.とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31,  $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1,  $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水流量情報は、解析中のため後日公表する。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

4/11

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/02/16 07:26	< 3.6E+00	< 4.9E-01	2.6E+00
物揚場排水路	2023/02/16 07:31	< 3.8E+00	< 5.2E-01	< 6.9E-01
K排水路	2023/02/16 06:00	6.4E+00	< 5.1E-01	3.2E+00
BC排水路	2023/02/16 06:00	< 2.9E+00	< 4.2E-01	< 5.1E-01
D排水路	2023/02/16 07:21	< 2.9E+00	< 7.0E-01	< 6.9E-01
5,6号機排水路 <sup>※1</sup>	—	—	—	—

・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、廃炉中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

6/11

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	セシウム同位体検査				その他の放射性核種				
				Mn-59 (Bq/L)	Cs-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2023/02/14 07:18	1.6E+04	2.5E+04	< 2.2E-01	< 2.1E-01	< 2.7E+09	< 9.1E-01	< 2.4E-01	6.5E-01	-	-	-
No.1-5	2023/02/14 08:33	1.4E+06	1.8E+03	< 6.2E+01	< 4.9E+04	< 2.6E+03	< 1.5E+03	9.8E+03	4.1E+05	-	-	-
No.1-8	2023/02/14 07:36	9.6E+03	4.4E+03	< 1.9E+00	< 2.6E+00	< 3.9E+01	< 1.4E+01	8.3E+00	4.0E+02	-	-	-
No.1-9 *1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2023/02/14 07:32	1.0E+03	8.1E+02	< 2.7E-01	< 3.5E-01	< 2.7E+09	< 1.0E+00	< 2.8E-01	2.7E+00	-	-	-
No.1-12	2023/02/14 07:02	3.5E+02	2.0E+04	< 1.1E+00	< 1.3E+00	< 1.5E+01	< 7.0E+00	3.6E+00	1.4E+02	-	-	-
No.1-14	2023/02/14 08:53	2.5E+04	2.0E+03	< 4.2E-01	< 3.7E-01	< 4.3E+00	< 1.8E+00	7.4E-01	1.9E+04	-	-	-
No.1-16	2023/02/14 07:05	6.0E+04	1.8E+02	< 3.3E-01	< 3.9E-01	< 5.1E+00	< 2.0E+00	8.0E-01	3.9E+04	-	-	-
No.1-17	2023/02/14 07:22	1.7E+05	1.3E+03	< 4.1E-01	< 4.0E-01	< 5.2E+00	< 1.8E+00	< 5.4E-01	5.9E-01	-	-	-

\* 検出限の半減期: H-3(約12年), Mn-59(約310日), Cs-60(約55年), Ru-106(約70日), Sr-125(約30年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

\* 不検出 (<: 下限値) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

\* 測定対象外および採取中止の項目は「-」を記す。

\* O.O.E.F.とは、 $0.0 \times 10^{-10}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は  $3.1 \times 10^1$  で31, 3.1E+00は  $3.1 \times 10^0$  で3.1, 3.1E-01は  $3.1 \times 10^{-1}$  で0.31と読み。

\* H-3以外には現在お知らせ済み。

\* No.1-9は、取水器による誤取であるため、測定は実施せず、今回は参考値として掲載しております。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他観測項目		
1,2号機ウエルポイント 汲み上げ水	2023/02/14 07:27	1.7E+05	9.9E+03	< 8.1E-01	< 4.8E-01	< 9.5E+00	< 3.3E+00	< 1.0E+00	4.2E+00	—	—	
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2,3号機改修ウエル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3,4号機改修ウエル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検体の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不審号 (< : 小数点) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象物および採取中の項目は「—」を記す。

・O.O.F±O.7は、 $0.0 \times 10^{-6}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は  $3.1 \times 10^1$  で31,  $3.1E+00$ は  $3.1 \times 10^0$  で3.1,  $3.1E-01$ は  $3.1 \times 10^{-1}$  で0.31と読み。

・H-3以外は既知と見込み。

※2 No.2-5, No.3-5は、振永館による採取であるため、V値は記載せず。全βは参考値としての翌後に測定。

8/11

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所環境管理部

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他の放射性核種					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	2023/02/16 07:05	2.9E+01	< 3.5E-01	< 3.9E-01	< 3.0E+00	< 1.9E+00	< 3.1E-01	2.2E+00	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検出限界の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不等号 (<)：小数01は、検出限界未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。  
 ・0.0E±0とは、0.0×10<sup>0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と表記。  
 ※1 No.1-9は、取水器による検出であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値としてY測定に測定。



9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	その他放射性核種	その他放射性核種			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2	2023/02/16 07:10	1.8E+02	< 2.6E-01	< 3.1E-01	< 2.3E+00	< 9.5E-01	< 3.2E-01	4.0E-01	—	—	
No.2-2	2023/02/16 07:20	1.7E+02	< 1.7E+00	< 2.1E+00	< 1.6E+01	< 6.3E+00	< 2.3E+00	5.1E+01	—	—	
No.2-3	2023/02/16 07:15	3.9E+04	< 2.7E-01	< 2.8E-01	< 2.7E+00	< 1.1E+00	< 3.3E-01	7.9E+09	—	—	
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-8	2023/02/16 07:35	4.7E+03	< 2.6E-01	< 3.5E-01	< 3.3E+00	< 1.4E+00	< 3.6E-01	2.2E+00	—	—	
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	2023/02/16 07:45	2.7E+02	< 2.0E-01	< 2.8E-01	< 2.1E+00	< 8.1E-01	< 2.5E-01	8.1E+00	—	—	
No.3-2	2023/02/16 07:25	7.0E+02	< 9.1E-01	< 1.6E+00	< 1.2E+01	< 3.9E+00	< 8.8E-01	6.9E+00	—	—	
No.3-3	2023/02/16 07:30	1.5E+03	< 3.2E+00	< 5.2E+00	< 4.3E+01	< 1.8E+01	< 5.1E+00	1.6E+02	—	—	
No.3-4	2023/02/16 07:50	2.2E+01	< 9.7E-01	< 1.1E+00	< 9.3E+00	< 2.7E+00	< 9.8E-01	5.9E+00	—	—	
No.3-5 ※2	2023/02/16 07:55	3.4E+02	—	—	—	—	—	—	—	2.5E+02	
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・採取日の半減期: Mn-54(約3110日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不番号 (<:小字)は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.E.Oとは、 $0.0 \times 10^0$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31、 $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1、 $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と表す。

※2 No.2-5, No.3-5は、換気扇による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値として交換後に測定。

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目					
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/01/02 07:57	8.4E+00	< 3.0E-01	6.6E-03	< 7.3E-01	< 7.2E-01	
1F 物置場前	2023/01/02 07:08	1.6E+01	< 1.8E+00	2.1E-02	< 2.2E-01	< 3.7E-01	
1F 1~4号機放水口北側 (東波除堤北側)	2023/01/02 07:03	< 1.1E+01	3.2E+00	< 1.3E-01	< 2.6E-01	7.3E-01	
1F 1~4号機放水口南側 (遊水壁前)	2023/01/02 06:58	< 1.1E+01	3.5E+01	3.6E-01	< 2.8E-01	2.3E+00	
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/01/02 08:10	1.0E+01	< 3.0E-01	6.6E-04	< 7.3E-01	< 7.6E-01	
1F 港湾口 (T-0)	2023/01/02 06:40	< 1.1E+01	< 3.0E-01	< 4.4E-03	< 2.1E-01	< 3.6E-01	
1F 港湾中央	2023/01/02 06:34	< 1.1E+01	3.2E+00	< 1.2E-01	< 3.6E-01	6.6E-01	
1F 港湾内北側	2023/01/02 06:30	< 1.3E+01	1.8E+00	7.9E-03	< 3.2E-01	< 3.3E-01	
WHOの飲料水品質ガイドライン*			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

核種毎の半減期：H-3(約12年)、Sr-90(約29年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不番号 (< : 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±0とは、 $0.0 \times 10^{10}$  であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$  は  $3.1 \times 10^1$  で31、 $3.1E+00$  は  $3.1 \times 10^0$  で3.1、 $3.1E-01$  は  $3.1 \times 10^{-1}$  で0.31と読み。

・物置場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施直後にもサンプリングを実施。

・Sr-90以外は型にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水品質ガイドラインにおける、H-3、Sr-90、Cs-134、Cs-137の指標

・分析結果の資料については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができたため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

10/11

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 海水分析結果〈港湾内, 放水口付近〉(全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/02/16 07:41	—	< 6.0E-01	< 5.3E-01
1F 6号機取水口前	2023/02/16 07:36	1.4E+01	< 3.1E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2023/02/16 07:16	1.6E+01	< 3.4E-01	< 2.9E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/02/16 07:11	< 1.4E+01	< 3.2E-01	1.3E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/02/16 07:06	< 1.4E+01	< 3.2E-01	2.6E+00
1F 南放水口付近 (T-2)※	2023/02/16 07:55	9.6E+00	< 7.6E-01	< 6.4E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/02/16 06:53	1.4E+01	< 2.8E-01	< 2.3E-01
1F 港湾中央	2023/02/16 06:47	< 1.2E+01	< 3.0E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内東側	2023/02/16 06:50	< 1.3E+01	< 3.3E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内西側	2023/02/16 06:45	< 1.3E+01	< 2.4E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内北側	2023/02/16 06:42	1.3E+01	< 3.2E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内南側	2023/02/16 06:56	1.4E+01	< 2.8E-01	< 2.8E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24467報)

2023年 2月 17日 14時 50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。</p> <p>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 2月15日]</p> <p>今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。</p> <p>【公表区分：その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2023年2月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	7.6E+03	< 1.2E+02	1.3E+02	5.8E+03
	下流側	2.4E+03	4.4E+02	1.6E+01	6.7E+02
2号機放水路立坑水	上流側	1.3E+03	< 1.2E+02	2.5E+01	8.6E+02
	下流側	7.7E+01	< 1.2E+02	< 5.9E+00	2.2E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・ $0.0E \pm 0$ とは,  $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31,  $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1,  $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

2/2

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24468報)

2023年 2月 17日 16時 40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第24465報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 11時41分</li> <li>・排水終了 : 16時00分</li> <li>・排水量 : 644m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
※添付の有り(無し)	(無し)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。